

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成27年4月9日(2015.4.9)

【公開番号】特開2015-37545(P2015-37545A)

【公開日】平成27年2月26日(2015.2.26)

【年通号数】公開・登録公報2015-013

【出願番号】特願2014-156280(P2014-156280)

【国際特許分類】

| | | |
|---------|--------|-----------|
| A 6 1 L | 29/00 | (2006.01) |
| D 0 6 M | 15/15 | (2006.01) |
| A 6 1 L | 27/00 | (2006.01) |
| C 2 3 C | 26/00 | (2006.01) |
| C 0 7 K | 7/06 | (2006.01) |
| C 1 2 N | 15/09 | (2006.01) |
| C 1 2 N | 1/20 | (2006.01) |
| C 0 7 K | 14/415 | (2006.01) |
| C 0 7 K | 14/435 | (2006.01) |

【F I】

| | | |
|---------|--------|-------|
| A 6 1 L | 29/00 | |
| D 0 6 M | 15/15 | Z N A |
| A 6 1 L | 27/00 | |
| C 2 3 C | 26/00 | A |
| C 0 7 K | 7/06 | |
| C 1 2 N | 15/00 | A |
| C 1 2 N | 1/20 | E |
| C 0 7 K | 14/415 | |
| C 0 7 K | 14/435 | |

【手続補正書】

【提出日】平成27年1月27日(2015.1.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

フィルター、布、纖維、発泡体、フィルム、コンクリート、レンガ、ガラス、金属及びプラスチックからなる群から選択される表面に単細胞生物が接着するのを予防する方法であって、該方法は該単細胞生物を細胞毒性又は細胞増殖抑制性の活性を欠き、かつY D Y N W Y (配列番号1)、Y D Y N L Y (配列番号2)、F D Y N F Y (配列番号3)、F D Y N L Y (配列番号4)、W D Y N L Y (配列番号8)、F D Y N W Y (配列番号5)、Y D W N L Y (配列番号6)、及びY D W H L Y (配列番号7)からなる群から選択される配列の1つを含むペプチドを含む組成物に接触させることを含み、該組成物が前記表面への前記単細胞生物の接着を予防又は低減するとともに、前記ペプチドは環状であり、50長以下のアミノ酸を含むことを特徴とする方法。

【請求項2】

請求項1に記載の方法において、前記配列Y D Y N W Y (配列番号1)が配列L F S V P Y D Y N W Y S N W W (配列番号9)又は配列L F S V P Y D Y N L Y S N W W (配列

番号 57) のタンパク質の中に含まれていることを特徴とする方法。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の方法において、前記配列 Y D Y N L Y (配列番号 2) が配列 M F S V P Y D Y N L Y S N W V (配列番号 58) のタンパク質の中に含まれていることを特徴とする方法。

【請求項 4】

請求項 1 に記載の方法において、前記配列 F D Y N F Y (配列番号 3) が配列 M F S V P F D Y N F Y S N W W (配列番号 11) 又は配列 L F S V P F D Y N F Y S N W W (配列番号 59) のタンパク質の中に含まれていることを特徴とする方法。

【請求項 5】

請求項 1 に記載の方法において、前記配列 F D Y N L Y (配列番号 4) が L F S V P F D Y N L Y S N W W (配列番号 18) 、 L F S I P F D Y N L Y S N W W (配列番号 60) 、 M F S V P F D Y N L Y S N W W (配列番号 12) 、 M F S V P F D Y N L Y T N W W (配列番号 13) 、 M W S V P F D Y N L Y S N W W (配列番号 14) 及び M F S V P F D Y N L Y K N W L (配列番号 16) からなる群から選択される配列のタンパク質の中に含まれていることを特徴とする方法。

【請求項 6】

請求項 1 に記載の方法において、前記配列 W D Y N L Y (配列番号 8) が配列 M F S V P W D Y N L Y K N W F (配列番号 15) のタンパク質の中に含まれていることを特徴とする方法。

【請求項 7】

請求項 1 に記載の方法において、前記配列 F D Y N W Y (配列番号 5) が配列 M F S V P F D Y N W Y S N W W (配列番号 54) のタンパク質の中に含まれていることを特徴とする方法。

【請求項 8】

請求項 1 に記載の方法において、前記配列 Y D W N L Y (配列番号 6) が配列 M A S I P Y D W N L Y Q S W A (配列番号 19) 又は配列 M A S I P Y D W N L Y S A W A (配列番号 20) のタンパク質の中に含まれていることを特徴とする方法。

【請求項 9】

請求項 1 に記載の方法において、前記配列 Y D W H L Y (配列番号 7) が配列 M A S I P Y D W H L Y N A W A (配列番号 21) のタンパク質の中に含まれていることを特徴とする方法。

【請求項 10】

請求項 1 に記載の方法において、前記組成物が凍結乾燥に耐性があることを特徴とする方法。

【請求項 11】

請求項 1 に記載の方法において、前記組成物が細胞の凝集を阻害することを特徴とする方法。

【請求項 12】

請求項 1 に記載の方法において、前記単細胞生物がバイオフィルム中に含まれていることを特徴とする方法。

【請求項 13】

請求項 1 に記載の方法において、前記単細胞生物が細菌、真菌、原生動物及び古細菌からなる群から選択されることを特徴とする方法。

【請求項 14】

請求項 13 に記載の方法において、前記真菌が酵母を含むことを特徴とする方法。

【請求項 15】

請求項 1 に記載の方法において、前記組成物が霧状、ゲル及び塗料からなる群から選択される形態にあることを特徴とする方法。

【請求項 16】

水を処理して、バイオフィルムの形成又はフィルターの汚損を予防又は低減する方法であって、細胞毒性又は細胞増殖抑制性の活性を欠き、かつYDYNWY(配列番号1)、YDYNLY(配列番号2)、FDYNFY(配列番号3)、FDYNLY(配列番号4)、WDYNLY(配列番号8)、FDYNWY(配列番号5)、YDWNL(配列番号6)、及びYDWHLY(配列番号7)からなる群から選択される配列の1つを含む単離ペプチドを含む組成物で前記水を処理することを含み、前記ペプチドは環状であり、50長以下のアミノ酸を有することを特徴とする方法。

【請求項17】

動物の身体を由来としない流体中のバイオフィルムの形成を予防又は低減する方法であって、細胞毒性又は細胞増殖抑制性の活性を欠き、かつYDYNWY(配列番号1)、YDYNLY(配列番号2)、FDYNFY(配列番号3)、FDYNLY(配列番号4)、WDYNLY(配列番号8)、FDYNWY(配列番号5)、YDWNL(配列番号6)、及びYDWHLY(配列番号7)からなる群から選択される配列の1つを含む単離ペプチドを含む組成物で前記流体を処理することを含み、前記ペプチドは環状であり、50長以下のアミノ酸を含むことを特徴とする方法。

【請求項18】

請求項1に記載の方法において、前記フィルターは逆浸透フィルターであることを特徴とする方法。